

## V224b HSC pipeline 一般共同利用サポートの現状報告

大石晋恵, 田中賢幸, 古澤久徳, 高田唯史, 峯尾聡吾, 小池美知太郎, 山田善彦, 池田浩之, 岩田生, 宮崎聡 (国立天文台), 他 pipeline 開発チーム一同

HSC pipeline はすばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam (HSC) 用データ解析ソフトウェアである。2015 年度には、一般共同利用観測者向けに pipeline マニュアルとヘルプデスクが開設された (日本天文学会 2016 年秋季年会, V218b)。昨年度のヘルプデスクの実績は、問い合わせ件数 52 件、問題のクローズまでの平均日数は 1-2 週間だった。問い合わせに応じてマニュアルの FAQ などは随時更新している。それまでは issue list として Excel での管理を行っていたが、issue tracker を導入し、チーム内での情報共有が円滑に行えるようになった。Pipeline については新しいバージョンがリリース予定となっているので、新しいマニュアルや仕様の変更について紹介する。

さらに、一般共同利用データについて、自動で pipeline の定型解析を行うサービスの開発も進めている。現状では自動処理のスク립トは完成しており、試験運用を開始する予定となっている。試験運用では、まず各観測ラン毎の約一ヶ月分の共同利用観測データ解析をまとめて行い、もしそのデータを利用したいユーザーがいた場合は配布することも検討中である。運用が安定的に行えるようになれば、HSC の運用開始から取得された全データに対して定型解析を行い、それを公開する Legacy Archive 構想につながると期待される。